

雑木林と春植物

ようやく暖かくなってきた春先の雑木林の中は、光が地面までさし込み、一年を通していちばん明るい時期です。5月になるともう葉が茂って、林の中は急に暗くなってしまいます。この短い春の間に精一杯葉を広げて、その年の活動をすませてしまう植物があります。一年分の光合成を行うのと同時に、花をつけ、実を結びます。夏が来る前に地上部は枯れてしまい、秋から冬の間はまったく姿が見られないという共通のくらし方（生活史）をするこうした植物は、分類学的には必ずしも近縁ではありませんが、同じような生活史を持つので、ひとまとめに「春植物」と呼ばれています。

東京の雑木林で生育する春植物には、カタクリ、イチリンソウ、ニリンソウ、アマナ、アズマイチゲ、ジロボウエンゴサクなどがあります。

春植物が、雑木林の中で今まで生き続けることができたのは、下草刈りや、落葉掃きが行われる季節に、地下部分だけになっているため、その影響をほとんど受けないことと関係があるのでしょう。



「雑木林のみち」は10コース



次の10コースを「雑木林のみち」として選定しました。

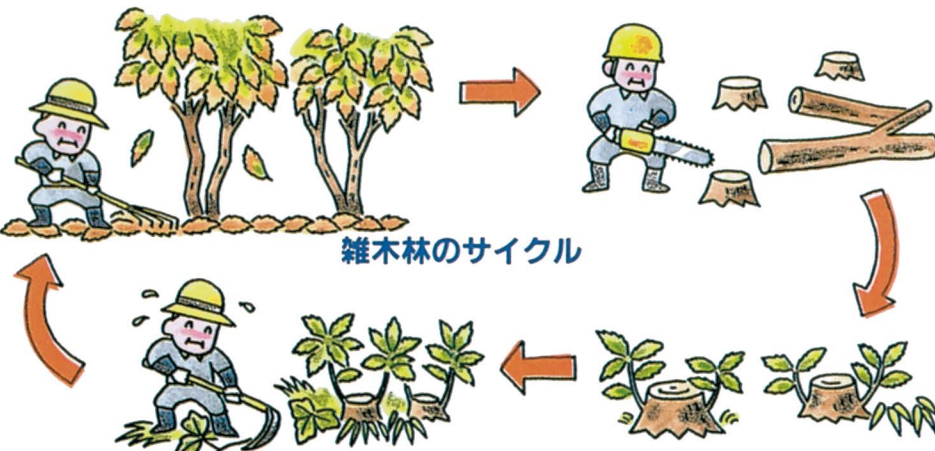
コース名	愛称	延長	風景と特徴	位置
1 清瀬中里コース	広野と街道のみち	10.5km	畑の広がりや屋敷林	清瀬市
2 松山・青葉町コース	森のこみち	5.9km	大平地林なごりの林	清瀬市・東村山市
3 黒目川・柳窪コース	屋敷林のみち	6.3km	黒目川源流の屋敷林	東久留米市
4 小山・金山コース	丘のこみち	5.0km	黒目川崖線の雑木林	東久留米市
5 南沢・南町コース	里のみち	5.9km	湧水と新田集落風景	東久留米市
6 玉川・野火止コース	用水の散歩みち	6.2km	用水沿いの雑木林	小平市・東大和市
7 国分寺コース	みずかみのみち	4.7km	崖線の樹林と湧水	国分寺市
8 矢川・青柳コース	せせらぎのみち	5.9km	崖線の樹林と湧水	国立市・立川市
9 野川・深大寺コース	ハケの散歩みち	5.2km	野川緑道と崖線樹林	三鷹市・調布市
10 調布若葉町コース	こもれびのみち	4.6km	入間川の段丘崖樹林	調布市・世田谷区

武蔵野の雑木林

「昔の武蔵野は萱原のはてなき光景を以て絶類の美を鳴らして居たやうに言ひ伝えてあるが、今の武蔵野は林である。林は実に今の武蔵野の特色といってもいい」 国木田独歩は、明治31年に著した「武蔵野」の中で、当時の武蔵野の姿をこのように描いて称賛しています。

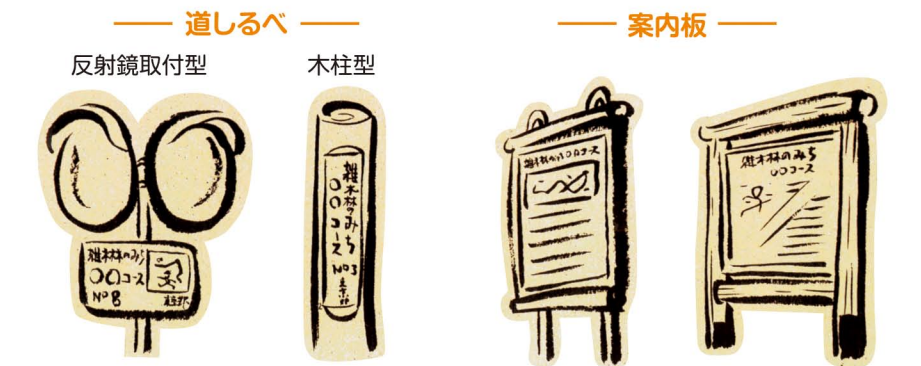
武蔵野に広がっていた雑木林は、薪や炭を得るために、15～20年の間隔で伐採され、その切り株から出た芽から育てられてきた林です。こうした利用がくり返し行われてきたため、切り株から芽を吹く力の強いコナラやクヌギなどの樹木だけが、株立ちの樹形となって残っているのです。また、毎年のように下草刈りと落ち葉掃きを行って、集めた落ち葉や下草を田畑の肥料として使うため、よく手入れされた雑木林の林の中は、下草がきれいに刈り払われて、比較的明るくなっています。

雑木林は、自然を破壊することなく、その力と性質とをコントロールして、継続した利用を図ってきた見事な知恵が生み出した風景ともいえます。燃料革命などによって、雑木林が農用林や薪炭林として果たしてきた役目が失われてきたとしても、私たちの祖先が工夫と愛情をもって育て、人々の生活とともに維持されてきた林であることを考え、大切にしたいものです。



「雑木林のみち」へようこそ

- 「雑木林のみち」とは
- 東京都は多摩東部地域に残る雑木林を保全し、この雑木林を中心とした武蔵野らしい風景をつづる道を「雑木林のみち」として選定しました。コース周辺に残る平地や崖線の雑木林を、都民の貴重な財産として維持し、親しんでいただくことを目的としています。
- 「雑木林のみち」の特徴
- 「雑木林のみち」のコースは次のような点に留意して選定しました。
1. コースの周りに雑木林や畑が比較的良好に残っていたり、水辺に沿って歩けるなど、散策や自然観察に向いている。
 2. 保全地域や保存樹林などに指定され、武蔵野の風景が守られている。
 3. それぞれのコースは、半日あればゆっくり散策できる。
 4. 電車やバスなどの交通の便がよい。
- 「雑木林のみち」の歩き方
- 「雑木林のみち」は、この地図のコースに沿って歩いてください。地図に標示されたコース沿いには、ところどころに下記のような案内板や道しるべが設置されています。なお、保全地域や公園などコース外であっても散策してみると、新たな発見があるかも知れません。



ここに注目清瀬中里コース

- 1 清瀬市郷土博物館
- 見て、体験して、さらに新たな市民文化を創造することを狙いとした、参加型の博物館で、「まゆだま祭り」や「手打ちうどん」など、昔なつかしい行事や郷土料理などの体験ができる施設です。
- 2 清瀬中里緑地保全地域
- 空堀川に面した河岸段丘に連なる、約2.5haの雑木林で、カタクリなどの貴重な植物が保護されています。「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、平成元年3月に保全地域に指定されました。
- 3 清瀬御殿山緑地保全地域
- けやき通りに面した、下清戸の農地の中にある約1.5haの武蔵野の面影を残す平坦な雑木林です。平成4年3月に保全地域に指定されました。
- 4 下清戸の畑
- 大根やにんじんの畑が広がり、とても気持ちの良い風景が広がっています。南側に連なる雑木林は、埼玉県にある米軍大和田通信所の敷地内の林です。下清戸から中清戸にかけては、今も農業生産の盛んな所で、野菜の栽培に重点を置いており、ほかに植木、花の栽培なども行われています。



5 志木街道のけやき並木

新東京百景に選ばれたけやき並木が続きます。上清戸一丁から下清戸の都県境まで、片側で170本ものけやきがあるそうです。

けやき並木といえば、清瀬駅から北へ伸びる「けやき通り」も、街路樹としては珍しい無剪定の姿で、のびのびと枝を広げたけやきが並んでいます。

けやきは清瀬市の「市の木」です。



6 日枝神社（山王社）のひいらぎ

日枝神社は、上中下清戸の鎮守様です。この神社にあるひいらぎには清戸（きよと）という地名の由来にまつわる話が伝わっています。

景行天皇のころ、日本武尊（やまとたけるのみこと）が東国へ遠征してきた折り、今の日枝神社の境内にあったひいらぎの老木の根元で休まれて、「清き土地なり」といわれました。それ以来、この地は「清土」と呼ばれるようになりましたが、いつしか「清戸」と書かれるようになったそうです。

志木街道沿いには、全龍寺、長命寺などの古いお寺も点在しています。



1 清瀬中里コース 広野と街道のみち

前半コース
清瀬駅北口下車「下田」バス停（清瀬駅北口行き）又は東所沢駅まで

後半コース
清瀬駅北口から台田団地行きバス「下田」下車 清瀬駅北口まで



雑木林のみち・清瀬中里コース
登録番号(31)97号
環境資料第31107号
編集年月 令和2年3月
発行年月 令和2年3月
編集発行 東京都環境局
新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL03(5388)3555
印刷 内外地図株式会社
イラスト 川上洋一、(有)ゼフィルス 御手洗 望
写真協力者(敬称略) 富田公三



東京都